

演習問題 2.27

\mathbf{x} と \mathbf{z} を 2 つの独立な確率ベクトル、すなわち、 $p(\mathbf{x}, \mathbf{z}) = p(\mathbf{x})p(\mathbf{z})$ であるとする。これらの和の平均が、それぞれの変数 $\mathbf{y} = \mathbf{x} + \mathbf{z}$ について個別に求めた平均の和となることを示せ。同様に、 \mathbf{y} の共分散行列が、 \mathbf{x} と \mathbf{z} それぞれの共分散行列の和であることを示せ。これが、演習問題 1.10 の結果と一致することを確認せよ。

[解]

まず、 \mathbf{x} と \mathbf{z} を 2 つの独立な確率ベクトル、すなわち、 $p(\mathbf{x}, \mathbf{z}) = p(\mathbf{x})p(\mathbf{z})$ であるとした場合に、これらの和の平均が、それぞれの変数 $\mathbf{y} = \mathbf{x} + \mathbf{z}$ について個別に求めた平均の和となることは、演習問題 1.10 より明らかである。つまり、

$$E[\mathbf{y}] = E[\mathbf{x}] + E[\mathbf{z}]$$

… ※

は成り立つ。

次に、 \mathbf{y} の共分散行列が、 \mathbf{x} と \mathbf{z} それぞれの共分散行列の和であることを示す。いま、 \mathbf{y} の平均について、式 ※ が成り立つので、 \mathbf{y} の共分散行列は $E[\mathbf{x}]$, $E[\mathbf{z}]$ を用いて以下の式で求められる。

$$\text{cov}[\mathbf{y}] = E[(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}] + \mathbf{z} - E[\mathbf{z}])(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}] + \mathbf{z} - E[\mathbf{z}])^T]$$

この式は、以下のような 4 つの項に展開される。

$$\begin{aligned} &= E[(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}])(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}])^T] + E[(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}])(\mathbf{z} - E[\mathbf{z}])^T] \\ &\quad + E[(\mathbf{z} - E[\mathbf{z}])(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}])^T] + E[(\mathbf{z} - E[\mathbf{z}])(\mathbf{z} - E[\mathbf{z}])^T] \end{aligned}$$

ここで、確率変数 \mathbf{x} と \mathbf{z} の独立性から、上記の式の第 2 項と第 3 項は、ともに 0 となるがわかるので、上記の式は以下ようになる。

$$\begin{aligned} &= E[(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}])(\mathbf{x} - E[\mathbf{x}])^T] + E[(\mathbf{z} - E[\mathbf{z}])(\mathbf{z} - E[\mathbf{z}])^T] \\ &= \text{cov}[\mathbf{x}] + \text{cov}[\mathbf{z}] \end{aligned}$$

よって、上記の式の第 1 項と第 2 項は、それぞれ \mathbf{x} と \mathbf{z} に関する 1 変数の共分散なので、結果的にこれらは \mathbf{x} と \mathbf{z} それぞれに関する分散と等しくなる。以上より、 \mathbf{y} の共分散行列が、 \mathbf{x} と \mathbf{z} それぞれの共分散行列の和であることを示せた。また、それが演習問題 1.10 の結果と一致することが確認できた。

以下に演習問題 1.10 を紹介する。

演習問題 1.10

2 変数 x, z が統計的に独立であるとする。それらの和の平均と分散が

$$E[x + z] = E[x] + E[z] \quad \cdots (1.128)$$

$$\text{var}[x + z] = \text{var}[x] + \text{var}[z] \quad \cdots (1.129)$$

を満たすことを示せ。

[解]

式 (1.128) を証明する。2 変数 x, z が独立であることから、式 (1.128) の左辺は、

$$\begin{aligned} E[x + z] &= \int \int (x + z) p(x, z) dx dz \\ &= \int \int (x + z) p(x) p(z) dx dz \\ &= \int \int x p(x) p(z) dx dz + \int \int z p(x) p(z) dx dz \\ &= \int x p(x) dx \int p(z) dz + \int p(x) dx \int z p(z) dz \\ &= E[x] + E[z] \end{aligned}$$

となる。以上より、式 (1.128) が示せた。

上記の変形において、

$$\begin{aligned} \int p(x) dx &= 1, & \int x p(x) dx &= E[x] \\ \int p(z) dz &= 1, & \int z p(z) dz &= E[z] \end{aligned}$$

であることに注意する。

次に、式 (1.129) を証明する。式 (1.129) の左辺を

$$\text{var}[x + z] = \int \int \{ (x + z) - E[x + z] \}^2 p(x) p(z) dx dz$$

と展開する。ここで、式 (1.128) より、

$$= \int \int \{ (x + z) - (E[x] + E[z]) \}^2 p(x) p(z) dx dz$$

$$\begin{aligned}
&= \int \int \{ (x - E[x]) + (z - E[z]) \}^2 p(x) p(z) dx dz \\
&= \int \int (x - E[x])^2 p(x) p(z) dx dz \\
&\quad + 2 \int \int (x - E[x])(z - E[z]) p(x) p(z) dx dz \\
&\quad + \int \int (z - E[z])^2 p(x) p(z) dx dz
\end{aligned}$$

… ※

ここで、式 ※ の各項について整理する。第一項については、

$$\begin{aligned}
&\int \int (x - E[x])^2 p(x) p(z) dx dz \\
&= \int (x - E[x])^2 p(x) dx \int p(z) dz \\
&= \int (x - E[x])^2 p(x) dx \\
&= \text{var}[x]
\end{aligned}$$

となり、第二項については、

$$\begin{aligned}
&2 \int \int (x - E[x])(z - E[z]) p(x) p(z) dx dz \\
&= 2 \int (x - E[x]) p(x) dx \int (z - E[z]) p(z) dz \\
&= 2 \left(\int x p(x) dx - \int E[x] p(x) dx \right) \left(\int z p(z) dz - \int E[z] p(z) dz \right) \\
&= 2 (E[x] - E[x]) (E[z] - E[z]) = 0
\end{aligned}$$

となり、第三項については、

$$\begin{aligned}
&\int \int (z - E[z])^2 p(x) p(z) dx dz \\
&= \int p(x) dx \int (z - E[z])^2 p(z) dz \\
&= \int (z - E[z])^2 p(z) dz \\
&= \text{var}[z]
\end{aligned}$$

となる。以上より、式 ※ は、

$$= \text{var}[x] + \text{var}[z]$$

となり、式 (1.129) が示せた。

[別解]

式 (1.129) を証明する。式 (1.129) の左辺を展開して、

$$\begin{aligned}\text{var}[x+z] &= E[\{ (x+z) - E[x+z] \}^2] \\&= E[(x+z)^2 - 2(x+z)E[x+z] + (E[x+z])^2] \\&= E[(x+z)^2] - 2E[(x+z)E[x+z]] + E[(E[x+z])^2] \\&= E[(x+z)^2] - 2E[x+z]E[E[x+z]] + E[E[x+z]E[x+z]] \\&= E[(x+z)^2] - 2E[x+z]E[x+z] + E[E[x+z]]E[E[x+z]] \\&= E[(x+z)^2] - 2(E[x+z])^2 + E[x+z]E[x+z] \\&= E[(x+z)^2] - 2(E[x+z])^2 + (E[x+z])^2 \\&= E[(x+z)^2] - (E[x+z])^2\end{aligned}$$

と整理する。ここで、式 (1.128) より、

$$\begin{aligned}&= E[x^2 + 2xz + z^2] - (E[x] + E[z])^2 \\&= E[x^2] + 2E[x, z] + E[z^2] - (E[x])^2 - 2E[x]E[z] - (E[z])^2 \\&= E[x^2] - (E[x])^2 + E[z^2] - (E[z])^2 \\&= \text{var}[x] + \text{var}[z]\end{aligned}$$

以上より、式 (1.129) が示せた。

上記の変形において、

$$\begin{aligned}\text{var}[x] &= E[(x - E[x])^2] \\E[E[x]] &= E[x]\end{aligned}$$

であることに注意する。